

平成二四年度卒業論文題目

吉村昂晋

文学作品における比喩表現の考察  
——村上龍作品の直喩表現から——

荒井美祐

竹内好が描く魯迅作品「文学教材「故郷」について

脇田真歩

荀子の学問観と性悪説  
——生まれつき悪なる人間は聖人になれるのか——

上川悠貴

三重県伊勢市方言における  
文末詞「二」＋終助詞の用法について

大川夕貴

読書活動の指導に関する研究  
——平成20年学習指導要領に基づいて——

平成二四年度修士論文題目

井上陽介

客神論  
——渡りくる神々の相貌——

笠井大輔

熊野比丘尼と女人救済  
——『比丘尼縁起』を中心として——

内田源

鈴木重家物語の生成と展開  
——『義経記』成立考 序説——

金子春菜

『新美南吉の表記に関する研究

木戸啓太

カナダ・オンタリオ州の Key Concept を用いた  
メディア・リテラシー教育

切石匡弘

蘆屋道満説話の成立  
——播磨の陰陽師集団——

佐野千明

テレビ番組に見るヴァーチャル大阪弁の特徴  
——アニメキャラクター服部平次の  
方言と地元方言の比較——

陳愛華

対照研究  
——語構成と統語機能の違いによる  
用法の拡張領域の異同に着目して——

清水阿弓香

新学習指導要領における文法教育の研究  
——学校文法はどうあるべきか——

林未織

夏目漱石「行人」論  
——まなざしの物語——

隅谷健介

連携教育の立場から考える就学前後の言葉の教育  
聴者の手話学習について  
——日本手話の使用に着目して——

福井伸大

棄市と復讐  
——市の果たした役割——

御館希

横山聡美

物語を「書くこと」へ  
——村上春樹『スプラウトニクの恋人』論——